

Press Information

エンデュランス・カーニバル「2008もてぎEnjoy耐久レース」

「それぞれの立場で3人がEnjoyし、総合33位・クラス4位で完走」

エンデュランス・カーニバル「2008もてぎEnjoy耐久レース(通称:Joy耐)」は、速さよりも燃費やレース戦略が重要となる参加型モータースポーツである。そんなJoy耐にTeam Honda Accessは“ドリキン”土屋圭市、現役フォーミュラ・ニッポン、スーパーGTドライバー伊沢拓也、人気パーソナリティーピストン西澤の3名を送り込み、B-4クラスにエントリーした。

7月5日「予選」

今回のレースはスーパー耐久仕様のシビックをSタイヤにスイッチして参加。金曜日の公式練習では伊沢拓也とピストン西澤が精力的に走行し、マシンをチェックした。

そして迎えた予選では、「引退以来5年ぶりのレース」となる土屋圭市がぶっつけ本番で臨んだ。それでも土屋は巧みにマシンをコントロールし、Joy耐スペシャルマシンの多い中、クラス10台中5番手のタイムをマーク。

また、伊沢も十勝24時間レース2連覇の経験を活かし、土屋とほぼ同じタイムをマーク。クラス5番手、総合13番手で決勝グリッドを確保した。

7月6日「決勝」

決勝はうだるような暑さの中、10時30分にスタート。スタートを受け持った土屋は、現役時代を彷彿させるような走りで次々と前車をパス。4周目には総合7番手へとポジションを上げ、15周目にガソリンスタンドに飛び込んだ。Joy耐はガソリンスタンドで燃料補給が行なわれ、しかもクラスによって9分～12分の停止が義務づけられる。

これこそ「誰にでも勝つチャンス」がある理由でもある。

土屋からバトンタッチした伊沢は土屋より速いペースで周回。ここからは各ドライバーが20周前後を受け持ち、ピストン、土屋とつないで2ステイメント目に突入。レース中にポジションをグングン上げては、給油するというまさにJoy耐ならではの展開で進む。そして終盤、雨が降り始める中、最終ドライバーとなった土屋は何とレース中のベストタイムをマーク。クラス4位、総合33位でフィニッシュした。

なお、レースの様子は9月8日に発売される「DVD Hot-Version 別冊 VTEC CLUB vol.6」内で紹介されるのでお楽しみに。

お客様からのお問合せ先は「株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521」へお願いいたします。
受付時間：9時～12時、13時～17時（土日祝祭日をのぞく）

Press Information

【土屋圭市コメント】

「ル・マンなどと同じく、自分に与えられたペースで走るのは難しいもの。でも5年ぶりのレースで楽しかった。(外気温が36℃という状況で)給油で待っている時が一番暑かった。雨の降り始めた最後は意地でベストタイムをマークしてやった(笑)」

【伊沢拓也コメント】

「走行するマシンが多い中、どうやったらタイムを出せるか、FFの走り方をつかもうと考えながら走った。十勝24時間レースも頑張ります」

【ピストン西澤コメント】

「オレが乗ったときはフロントタイヤが終わっていたね(笑)。普段から鍛えているので、暑さは大丈夫。5年ぶりでも土屋さんはさすがだった(唾然)」

2008年7月5日～6日

天候:晴れ/雨 参加台数:100台/決勝出走台数:90台

出場クラス:B-4

ゼッケン/車名:176/Racing Modulo TYPE R

ドライバー:土屋圭市/伊沢拓也/ピストン西澤

予選クラス5位 総合13位

決勝クラス4位 総合33位完走 141周回

完走台数:74台

(決勝周回数:土屋46周/伊沢52周/ピストン43周)

土15周→伊20周→ピ22周→土19周→伊21周→ピ21周→伊11周→土12周